

CFP[®]資格は北米、アジア、ヨーロッパ、オセアニアを中心に世界25カ国・地域(2024年1月現在)で導入されている、「世界が認めるプロフェッショナルFPの証」で、FPの頂点とも言えるものです。原則として一国一組織により資格認定が行われており、日本においては日本FP協会が認定しています。

CFP[®]資格取得の魅力

信頼が深まる

「CFP[®]認定者に相談したい」というお客様からの要望があった。
(独立系FP)

お客様からの信頼が厚くなった。
(金融機関勤務)

セミナー講師や執筆の依頼等チャンスや仕事の幅が広がった。
(独立系FP)

自信がつく

CFP[®]認定者検索システムに登録し、仕事の依頼が増えた。
(独立系FP)

チャンスが広がる

FPのプロとしてCFP[®]資格が必要なものであると、FP実務を通して実感している。
(証券会社勤務)



CFP[®]資格は、国際CFP[®]組織FPSBが認めた認定基準に基づいて日本FP協会が認定しており、CFP[®]認定者には「CFP[®]ライセンスカード」と「CFP[®]資格認定証」を発行します。

※日本FP協会のホームページでは、生活者がFP相談を希望した際に、地域別、相談分野別などでCFP[®]認定者を検索できる「CFP[®]認定者検索システム」を開設しています。CFP[®]認定者になると、この検索システムに登録することができます(登録は任意です)。

CFP[®]資格認定基準

- 日本FP協会が実施するCFP[®]資格審査試験6課目に合格すること。
- 日本FP協会が実施するCFP[®]エントリー研修(※1)の受講・修了と通算3年以上の実務経験(※2)があること。
- 日本FP協会が定めるCFP[®]認定者諸規程を順守すること。

(※1) CFP[®]エントリー研修とは、CFP[®]資格審査試験6課目すべてに合格した方を対象に実施している通信研修(eラーニング)です。通信研修(FP実務の6ステップ、倫理およびコンプライアンスの学習)の受講・修了をもってエントリー研修の要件充足となります。なお、継続教育単位の付与はありません。

(※2) 通算3年以上の実務経験とは「FPの6ステップのいずれかの経験」を幅広く指すものであって、業種・職種・雇用形態等により、狭義に定義するものではありません。また、対象期間は、全6課目合格前10年～CFP[®]資格認定日までになります。経験年数が不足するときは、実務経験とみなされる研修を受講する方法もあります。

新規登録料およびCFP[®]会費

CFP[®]資格の新規登録時に登録料として5,000円(課税対象外)の納入が必要です。

CFP[®]資格の認知普及等の費用に充当するCFP[®]会費として、年会費とは別に毎年8,000円(課税対象外)の納入が必要です。

CFP[®]資格更新について

2年ごとに「FP実務と倫理」2単位以上を含む3課目以上で30単位以上の取得と更新手続きが必要です。

※単位取得した証明書類は単位取得日から3年間保管してください。資格更新にあたって、証明書類の提出が必要な場合があります。

AFP資格取得直後 がチャンス!

AFP資格取得で学んだ知識を活かしやすいので、ブラッシュアップも兼ねてCFP®資格審査試験にチャレンジしてみたいかがでしょうか。



CFP®資格審査試験

CFP®資格審査試験は、国際CFP®組織FPSBと日本FP協会との業務提携に基づき、日本FP協会が実施するものです。同試験は、日本FP協会が認定するAFP認定者等を対象として実施し、全6課目合格者はより高度な知識と技能、十分な経験と倫理観を身に付けているFPと認められ、「CFP®エントリー研修」の受講・修了と「通算実務経験3年」の経験要件を満たし、会員倫理規程等の順守に同意することによって、「CFP®資格」が付与されます。

試験日	毎年6月・11月、年2回実施																	
出題形式	マルチプルチョイス方式(四肢択一式) 各課目の出題数は各50問、配点は1問2点の均一配点(100点満点)																	
受験資格	<ul style="list-style-type: none"> ● AFP認定者 または ● 協会の指定する大学院で所定の課程を修了した者 (CFP®資格審査試験の受験資格を得るための所定の科目の単位を取得) ※受験資格および課目合格は、課程修了後7年以内に6課目すべてに合格しない場合には、失効となります。 																	
受験地	全国主要都市で実施																	
時間・課目	<p>6課目(1課目120分)を3課目ずつ2日間にわたって実施 ※課目ごとの受験および合格を認めます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受験日</th> <th>試験時間</th> <th>試験課目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">試験第1日目 各120分</td> <td>9:30~11:30</td> <td>金融資産運用設計</td> </tr> <tr> <td>12:30~14:30</td> <td>不動産運用設計</td> </tr> <tr> <td>15:30~17:30</td> <td>ライフプランニング・リタイアメントプランニング</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">試験第2日目 各120分</td> <td>9:30~11:30</td> <td>リスクと保険</td> </tr> <tr> <td>12:30~14:30</td> <td>タックスプランニング</td> </tr> <tr> <td>15:30~17:30</td> <td>相続・事業承継設計</td> </tr> </tbody> </table>	受験日	試験時間	試験課目	試験第1日目 各120分	9:30~11:30	金融資産運用設計	12:30~14:30	不動産運用設計	15:30~17:30	ライフプランニング・リタイアメントプランニング	試験第2日目 各120分	9:30~11:30	リスクと保険	12:30~14:30	タックスプランニング	15:30~17:30	相続・事業承継設計
受験日	試験時間	試験課目																
試験第1日目 各120分	9:30~11:30	金融資産運用設計																
	12:30~14:30	不動産運用設計																
	15:30~17:30	ライフプランニング・リタイアメントプランニング																
試験第2日目 各120分	9:30~11:30	リスクと保険																
	12:30~14:30	タックスプランニング																
	15:30~17:30	相続・事業承継設計																
受験料(税込)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>受験出願課目数</th> <th>受験料(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1課目</td> <td>6,600円</td> </tr> <tr> <td>2課目</td> <td>9,900円</td> </tr> <tr> <td>3課目</td> <td>13,200円</td> </tr> <tr> <td>4課目</td> <td>16,500円</td> </tr> <tr> <td>5課目</td> <td>19,800円</td> </tr> <tr> <td>6課目</td> <td>23,100円</td> </tr> </tbody> </table>	受験出願課目数	受験料(税込)	1課目	6,600円	2課目	9,900円	3課目	13,200円	4課目	16,500円	5課目	19,800円	6課目	23,100円			
受験出願課目数	受験料(税込)																	
1課目	6,600円																	
2課目	9,900円																	
3課目	13,200円																	
4課目	16,500円																	
5課目	19,800円																	
6課目	23,100円																	
出願方法	『Myページ』からのインターネット出願と願書(書面)による出願の2種類があります																	